

なまけものの王さまとかしい王女のお話

ミラ・ローベ 作
ズージ・ヴァイゲル 絵
佐々木田鶴子 訳
徳間書店 2001年 1300円



ある国に、ナニモセン五世というなまけモノの王さまがいました。食べることで寝ることが大好きで、動くときは、いすのついた輿で運んでもらっていました。そんな王さまが、やがて病気になりますが、誰も治すことができません。活発でかしい王女ピンピは、なんとか病気を治そうとあちこちたずね歩きますが…。

※『ぐうたら王とちょこまか女王』（菊池貞雄画 塩谷太郎訳 学習研究社 1976年）の新訳です。

バレエをおどりたかった馬

H・ストルテンベルグ 作
さとうあや 絵
菱木晃子 訳
福音館書店 1999年 1200円



いなかに住んでいた馬は、旅のバレエ団が踊るのを見て、バレエに夢中になってしまいます。馬は友だちと別れて町のバレエ学校に入ります。下宿先のグレーネさんや、口のわるいオウムたちに支えられながら、馬は、バレエダンサーを目指しいっしょうけんめい練習します。

ハンカチの上の花畑

安房直子 作
岩淵慶造 絵
あかね書房 1973年 1300円



郵便屋の良夫さんは、配達先をつくり酒屋のおばさんから、酒の精の小人がつくったおいしい菊酒をごちそうになりました。良夫さんはおばあさんに、小人をだれにも見せない、菊酒で金もうけをしないと約束して、小人が住む不思議なつぼを預かりましたが…。